

2019年度 発達支援つむぎ 目白ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。利用者アンケートの結果および改善策の報告をいたします。  
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
環境・体制設備について	1 入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するに当たり安全な環境であるか。	4.3	清掃に関しては点検表を作成し、漏れないように行っております。今後も常に改善策はない意識しながら、さらに安全で過ごしやすい環境づくりに努めます。
	2 職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.4	職員配置の安定をめざしております。また一人ひとりが専門性を高めるとともに、職員間で協力し支援の知識や技術の向上に努めてまいります。
	3 ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		
業務改善について	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.9	何をすべきか、どのようにしていくかを明確にするための話し合いの場を多く持ちたいと思います。また職員間の情報共有についても今後さらに強化してまいります。
	5 保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.3	今回の利用者アンケートでは貴重な意見を頂戴しております。頂いた意見は改善にいかしていきたいと思っております。
	6 この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.4	カフェスペースに掲示のほか、ホームページでも公開しております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.6	(第三者評価未受審)
	8 職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.1	法人では、子育てスキル講座をはじめ様々な研修機会が用意されており、職員は各自の興味関心や課題に応じた学びの計画を立てており、このような研修への参加をはじめその他自主的にもますますの研修に努めるとともに研修内容をルーム内で共有してまいります。
	9 業務改善について、ご意見をお聞かせください。		業務について気づいたことがある場合は、その都度報告し迅速に改善するよう努めて参ります。
適切な支援の提供について	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.7	共通のアセスメントツールを使用し、お子様の発達の状況を図っております。
	11 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.7	アセスメント後、策定会議を行った上で個別支援計画を作成しています。
	12 グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.9	支援目標についてはお子様の成長の具合に合わせて柔軟に変更したり、成長をとらえやすくするためさらに短期間でのスモールステップの目標を加えるなど努めて参ります。
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.6	室内、戸外のプログラムのバランスを考慮し、地域交流も積極的に取り入れお子さまが様々な人とのかわりの中で一つでも多くの体験をし生きる力につながっていくよう工夫してまいります。
	14 プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	5.0	プログラム内容について打ち合わせをするともにあらかじめ決めたプログラムの進行にとらわれず、お子様の様子によって臨機応変に対応できるよう職員間で役割分担や支援目標について確認して参ります。
	15 支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.9	職員間で支援の振り返りを行っているほか、今後はケース会議の回数も増やしさらなる情報共有や支援内容の向上に努めて参ります。
	16 日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.9	支援内容や保護者様とお話した内容は正しく記録しその後の支援へとつなげていけるよう今後も努めて参ります。
	17 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	4.9	今後も定期的にモニタリングを行い個別支援計画の提示と分かりやすい説明ができるよう努めて参ります。
	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.6	児童発達支援ガイドラインに則り様々な活動を取り入れバランスの良い支援を行うよう計画を立てていきたいと思っております。
19 適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。			
関係機関	20 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.9	指導の振り返りの時間を大切に、丁寧に保護者様と状況や課題を共有するよう努めておりますが、どのような方にもわかりやすい表現を用いたり、たくさんの質問にお答えできるような知識を深めたり情報を収集したりしてどの職員も対応できるよう努めて参ります。
	21 所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	4.7	訪問させていただいた園とは訪問後も連携が取れるよう定期的にお話ししている事もございます。そのような連携体制が多く持てるよう積極的に動いていきたいと思っております。
	22 児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	3.7	所属園との連携と同様に、事業所間の担当者会議などを積極的に行っていきたいと思っております。
	23 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.0	多くの情報を収集し保護者様へご提供できるよう努めるとともに、放課後デイサービスともつながる機会を作っていきたいと思っております。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
や保護者との連携について	24	3.3	専門機関とつながる機会をさらに増やし、研修についても職員間で共有しています。
	25	3.4	地域連携の会議に参加を始めました。今後は協力体制をとっていく方向ですんでいます。
	26	3.7	一部の保育園とはメゾック参加で交流ができておりますが今後はさらなる地域連携の体制のもと交流の場を広げて参ります。
	27	3.6	参加させていただきだけでなく、ご招待できるような企画を考えたいと思います。
	28	3.3	保護者様の意見も伺いながら、職員実施の講座や外部講師に依頼しての研修などの開催も検討して参ります。
	29		
保護者やお子さまへの対応などについて	30	4.3	安心してご利用いただけるよう契約時にはわかりやすく丁寧に説明するよう心がけておりますが、利用開始後も、ご不明な点があればすぐにお答えできるよう職員とも常に契約内容等の確認して参ります。
	31	4.7	指導後の振り返りの時間を大切にしていますが、まとまった時間での相談を希望される場合は「相談支援加算」という制度を利用して30分程度の面談が可能です。ご希望がございましたら職員にご相談ください。
	32	4.7	同窓会や、就学に関する保護者会（座談会）などを年に数回企画しております。多くの保護者の方にご参加いただければと思います。
	33	4.7	小さなお子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。
	34	4.6	イベント開催の告知については主に配布文書にてお伝えしています。カフェ内のお知らせスペースにも掲示させていただいておりますので、ご不明な点は職員にお声がけください。
	35	4.6	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。（例：分かりやすい言葉かけをしているか、専門用語を使い過ぎないかなど）
	36	4.4	個人情報にかかわる文書の保管については常に鍵がかかる書庫に保管し職員不在の際には施錠しています。パソコンのデータにつきましてもID/パスワードを設定し他者に情報が漏れないよう管理しております。
	37	5.0	口頭だけでなく業務日報への記入とその内容を毎朝読み合わせをし情報を共有しております。
	38		
	非常時の対応について	39	3.7
40		2.9	防災計画、避難訓練計画にもとづき、周辺地域との連携も含め職員全員で取り組みます
41		3.0	業務効率の向上をすすめ、研修参加の機会を確保していきます
42		3.1	ルーム内のヒヤリハットはもちろん、他事業所でおきた事例についても共有していきます
43			
満足度について	44	4.9	つむぎに通うことを楽しみにしているとお声を多数頂戴しております。そのお声にお応えできるよう支援内容や環境設定など都度改善工夫して参ります。
	45	5.0	成長を感じるエピソードなど常に職員間で共有しています。グループ活動のあと保護者様からも自分のお子様だけでなく、ほかのお子様の成長を喜ばれる声が多く聞かれます。このように社会全体で子育てをしていく環境、雰囲気を広げていきたいと思っております。
	46		